

## 超音波診断装置プロサウンドF75が第41回機械工業デザイン賞を受賞

[2011.07.27] 超音波診断装置

日立アロカメディカル株式会社（本社：東京都三鷹市牟礼6-22-1 社長：吉住 実）は、超音波診断装置プロサウンドF75が、2011年度「第41回機械工業デザイン賞」の「審査委員会特別賞」を受賞したことを発表しました。

『機械工業デザイン賞』は日刊工業新聞社が1970年から主催する、生産財を中心に医療機器や福祉機器なども対象としたデザイン賞です。2011年度「第41回機械工業デザイン賞」には27社28件の応募がありました。

プロサウンドF75は検査者が無理のない姿勢で検査でき、その負担を20%軽減する、安全・安心な装置として評価され、「審査委員会特別賞」を授与されました。贈賞式は2011年7月26日に都内ホテルグランドパレスで開かれました。



### <超音波診断装置プロサウンドF75>

より自然で無理のない体勢で検査を行うために超音波診断装置はどうあるべきか。プロサウンドF75の開発は、その条件を探すことから始めました。モニターと操作パネルの可動範囲はどれくらいあるべきかを検討。筋電計を操作者に取り付け、実使用と同じ条件で筋負担を計測する実験を繰り返しました。このように検査の実態を踏まえた上で、最適な解を求めました。それは、ユーザーの利便性を中心に考えたアプローチです。検査者の筋骨格系障害リスクの軽減に貢献します。

### <機械工業デザイン賞>

機械工業デザイン賞は日刊工業新聞社が経済産業省の後援、日本商工会議所、各工業団体の協賛を得て、わが国工業製品のデザインの振興・発展を目的に1970年、日刊工業新聞創刊55周年を記念して創設されました。製品の企画力・社会性、機能・性能、操作・安全性、造形処理の4項目の審査基準による総合評価によって選定されます。受賞した多くの製品は、それぞれの時代のデザインの方向性を示唆する先端的製品として高く評価されています。

### <日立アロカメディカル株式会社>

日立アロカメディカル株式会社は、医用電子装置（超音波診断装置など）および汎用分析装置（放射線測定器など）、医用分析装置（検体前処理装置など）の3事業分野におけるリーディングカンパニーです。日立メディコグループの一社として東京に本社を置き、国内39ヶ所、海外14ヶ所（子会社等を含む）を拠点として、150カ国以上に製品を納入しています。事業ステートメント“illuminate the change”（見えないものを見る／変化を照らす）という方針を掲げて、健康や社会の不安を「予知」「予測」「予防」することで、人や社会に安全・安心を提供してまいります。